

ESG 研究会「ESG6 の国際ブラインド予測結果から ESG 研究の将来を考える」

主催：日本地震工学会 強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会

後援（予定）：日本地震学会、物理探査学会、土木学会、地盤工学会、日本建築学会、日本応用地質学会

日時：2022 年 3 月 31 日（木）13:00～17:30

開催方式：会場参加*とオンライン**のハイブリッド形式

会場：京都大学東京オフィス

〒100-6510 東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 10 階

参加費：正会員 5,000 円、後援学会***会員 6,500 円、非会員 8,000 円、学生 1,000 円

*先着 20 人限定（状況によっては会場での参加を取りやめる可能性あり）

**Zoom を用いる予定

***予定：日本地震学会、物理探査学会、土木学会、地盤工学会、日本建築学会、日本応用地質学会

趣旨：

日本地震工学会が 2021 年 8 月 30 日～9 月 1 日にかけてオンラインで主催した「第 6 回表層地質が地震動に及ぼす影響(ESG)に関する国際シンポジウム」(ESG6)には 21 ヶ国から 187 名が参加し、134 件の発表と議論が行われました。その一環として、熊本市の強震観測点の地盤構造推定と 2016 年熊本地震での観測強震動等についての国際ブラインド予測 (ESG6-BP) を実施し、10 ヶ国から 33 チームが参加しました。ESG6-BP では、地盤構造と地震動・強震動の事後予測に関する知見が共有され、有意義な議論が活発に行われました。

本研究会では、ESG6-BP について ESG6 後に分析した新たな情報と併せて報告するとともに、ESG6-BP 参加者の方から、各々の解析結果について詳しく紹介して頂きます。また、ESG6-BP の際に参加者に提供されたデータ等の追加分析についても報告します。これらの一連の成果発表から、ESG6-BP を通じて地盤構造や強震動の予測に関して浮かび上がった ESG 研究の将来の研究課題について討論を行います。ESG 研究に携わる、または、その成果を活用する多くの研究者、実務者のご参加をお待ちしております。

プログラム：

1. はじめに（主旨説明）：松島信一（京都大学 防災研究所）（13:00～13:05）
 2. ブラインド予測（BP）概要と観測/試験：松島信一（13:05～13:20）
 3. BP STEP1（地盤構造推定）から得られた知見：地元孝輔（香川大学 創造工学部）、山中浩明、津野靖士ほか（13:20～13:45）
 4. BP STEP2（弱震動予測）および STEP3（強震動予測）から得られた知見：津野靖士（鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター）、川瀬博、山中浩明、長嶋史明ほか（13:45～14:10）
 5. BP 参加者による成果紹介（各 25 分（発表 20 分+質疑 5 分））：
 - ・位相速度と H/V スペクトルの同時逆解析による S 波速度構造の推定及び経験的グリーン関数法を用いた強震動波形の推定(STEP1,2 結果について)：鈴木晴彦（応用地質株式会社 地震防災事業部）、鳥本達矢（14:10～14:35）
 - ・三次元差分法と等価線形化法のハイブリッドによるブラインド予測：早川崇（清水建設 技術研究所）、佐藤智美、大島光貴、津田健一、福武毅（14:35～15:00）
- <休憩（15:00～15:15）>

- ・実務者視点でのBP1~3：小阪宏之（戸田建設株式会社 技術開発センター）（15:15～15:40）
 - ・拡散波動場理論に基づく地盤構造同定と地震動推定：長嶋史明（京都大学 防災研究所）、川瀬博、伊藤恵理、仲野健一（15:40～16:05）
6. テストサイトにおける補完的な地震観測および地盤探査：山中浩明（東京工業大学 環境・社会理工学院）、津野靖士、重藤迪子、神野達夫、高井伸雄、松島健、松島信一（16:05～16:25）
 7. テストサイトの地震データ分析による地震動特性評価：津野靖士、是永将宏、山中浩明（16:25～16:45）
 8. 総合討論：松島信一（司会進行）（16:45～17:30）